

みんなで子育て No.1

バックナンバーは
こちらから▶



岐阜県環境エネルギー生活部 県民生活課
家庭教育推進専門職：辻 Tel 058-272-8206



今年度、家庭教育学級を担当されます保護者役員の皆様、また、園・学校の担当者の皆様、1年間どうぞよろしくお願いいたします。私は、岐阜地区の家庭教育学級のお手伝いをする辻 治彦（つじ はるひこ）と申します。地区内の園・学校・市町行政が行われます家庭教育学級、親子活動を取材させていただき、応援通信を作成し、毎月配信いたします。各学級で、どのような取組みが行われているかを知っていただき、企画運営の参考にいただければ幸いです。

応援通信では、県が行っている取組み、子育てや家庭教育に関わる情報についても提供していきます。過去に配信した通信を岐阜県のHPIに掲載していますので、上の二次元コードからアクセスし参考にしてください。

市町教育委員会に提出されます計画書を参考に、随時取材を依頼しますので、ご協力をお願いいたします。今までにあまり行われなかった取組みや、普段なかなかお話を聞くことが難しい講師さんを招かれる時などには、是非上記連絡先までお知らせください。

山県市

「今、子育てに求められていること」

2月25日

講師 臨床心理士・SC 山田 日吉 氏



市主催の家庭教育学級の報告会・説明会に合わせ、リーダーを対象とした家庭教育学級を開催しました。講師は、元校長で現在スクールカウンセラーとして活躍している山田氏です。

山田氏は、各種調査データから見てくる子どもたちの状況について示されました。暴力行為件数、いじめの認知件数、自殺者数、不登校児童生徒数、虐待対応件数、ひきこもり数など、どれも右肩上がり、過去最多という状況にあり、子どもたちが育ちにくい現実があることを確認されました。

家族の関係づくりを一枚の布に例えられ、親と子が信頼関係で結ばれている状態（縦糸）と家族の一人一人がお互いに信頼関係で結ばれている状態（横糸）を「布のように織りなす」ことが大切であるとお話されました。

また、「根を養えば木は育つ」という、教育者「東井義雄」の言葉を紹介され、根とは「人を信頼できる力」、根を養うとは「乳幼児期に十分甘えさせること」「認めること」「褒めること」「あなたはあなたのままでいいんだよ」と丸ごと受け止めることだと言われました。

朝日を浴び、規則正しい時間に食事を摂り、十分に寝かせることで「からだの脳」を育て、土台を築き、その上に「おりこうさんの脳」「こころの脳」と健全な脳が育つように見守り続けるのが「親」の務めであると話されました。

参加者の声

- ・子どもは大人より後に生まれたため、大人の影響を受ける。大人も生きにくい時代、子どもはもっと生きにくい世の中を生きているという講師の先生の話聞き、自分たちが、子どもたちにとって、安心して生活でき、希望もてる社会に変えていかなければならないんだと思いました。
- ・親に余裕がなく、知らず知らずのうちに、子どもが親に甘えたいのに甘えられない状態をつくっており、愛着障がいとなり、発達障がいもどきを生み出しているという話には納得してしまいました。子どもが甘えられるように気を配りたいと思います。
- ・「イベント家族にならない」「プレゼント家族にならない」「ホテル家族にならない」耳の痛いお話でした。親子のふれあい、家族のふれあいを大切にしていきたいと思います。

現代の子どもの3つの課題

発 達	情 緒	社 会 性
・豊かな遊びの喪失 →感覚遊び →探究・感覚・触覚 →運動遊び →身体操作・走る・跳ぶ →想像遊び（ごっこ遊び） →受容遊び（絵本・お話） →構成遊び（積み木遊び）	・虐待の進行 →多忙な現代社会 →結果としての虐待（ゆとりのない親） ・親のストレス ・感情コントロール（怒りのコントロール） →愛着行動の未発達 →甘えられない	・少子化と核家族化 →地域行事、家庭行事の喪失 →人間関係に課題（人と関わる術が育たない） ・自己中心的（話を聞き取れない）



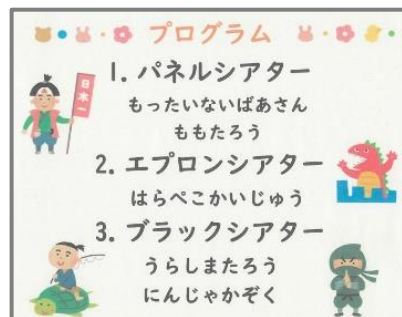
講師 「岐南おはなしの会」の皆さん



岐南町図書館では毎週土曜日、おはなしの会（絵本の読み聞かせ）を開催しています。お話を担当しているのは、館が造られた翌年より40年以上にわたり活動されている「岐南おはなしの会」（令和5年度子供の読書活動実践優秀団体として文部科学大臣賞受賞）の皆さんで、町の小学校でも読み聞かせ活動を行っていらっしゃいます。図書館イベントとして、毎年8月と2月の年2回、拡大版の「大きなおはなしの会」が開催されており、毎回多くの親子が心待ちにし、楽しく参加されています。

しく参加されています。

この日は、町のマスコットキャラクターである「ねぎっちょ」のパペットとともに、会の代表を務められる伊藤氏がつくられた「ねぎっちょのうた」をみんなで歌うことに始まり、右のプログラムにある5つの話を、キーボード演奏に合わせみんなで歌ったり、効果音を聞いたりして、わくわくドキドキしながら楽しみました。定番の昔話あり、オリジナルのお話もありで、とても有意義な時間となりました。



保護者の声

- ・とても楽しかったです。子どもがお話にたくさん反応していました。町の「子育てサロン」にも参加するようにしています。子どもは今「車と新幹線」に興味を持っています。
- ・図書館は普段も利用していて、毎週土曜日の「おはなしの会」も利用させていただいています。夏のこの会に参加して、とてもよかったので今日も参加しました。
- ・土曜日になるのを、子どもがとても楽しみにしていて来させていただきました。園で覚えてきた歌もあって大きな声で歌っていました。寝る前に本を読んであげるようにしています。

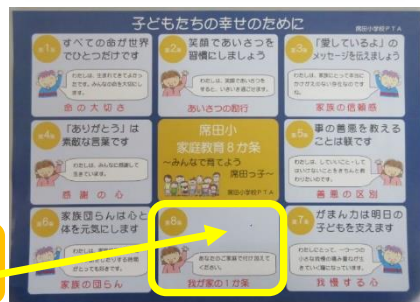
「令和6年度 本巣市家庭教育学級実践交流会」

3月13日

本巣市では、毎年この時期に、新旧の役員と園・学校の担当者が集い、実践交流会を行っています。この会のねらいは、①今年度の家庭教育学級を振り返り、来年度役員へ活動の引き継ぎをする ②来年度の活動を計画する前に、家庭教育学級の目的を再確認する ③他の園・学校との交流を通して今後の活動の参考とするの3つです。

行政担当者からは、本巣市が推進している3つの取組み、④本巣市版わが家の約束運動 ⑤家族読書（うち読） ⑥学校給食センター見学（食育）の説明や、委託金の活用例として、席田小学校PTAが作成した「子どもたちの幸せのために（右図）」という家庭用掲示物の紹介等が行われました。

後半の交流の時間では、旧役員は成果と課題を、新役員は抱負と不安内容を付箋に書き出し、これらをもとに、活発な意見交流・情報交流を行われました。来年度の家庭教育学級の充実を願い熱く語られる方ばかりで、素敵な会だと感じました。



「席田小家庭教育8か条」のうち1つは、「わが家の1か条」として、各家庭で話し合って決め、記入できるように空欄となっています！

参加者の声

- ・実践名だけではわからない他校の様子を知ることができ、参考になりました。同じ課題で悩んでいることがわかり、少し安心、気が楽になりました。
- ・不安が解消されました。6年度に担当された方の話がとても為になりました。園によって引き継ぎ方が違いますが、引継ぎが一番大切だと思いました。
- ・他の学校の事例が聞けたのが、とても参考になりました。前年と同じプログラムになりがちなのですが、新しい視点で改善できそうです。
- ・他校の先生方と様々な視点で交流ができ、大変参考になりました。家庭教育学級について、改めて知れたり考えたりすることができ、よい機会となりました。

はじめての家庭教育学級リーダー 基本的な進め方



岐阜県のHPに、「岐阜県の家庭教育」関係の資料が掲載されています。
URL : <https://www.pref.gifu.lg.jp/page/213812.html>

保存版

家庭教育学級運営マニュアル(令和改訂版)

家庭教育学級運営マニュアル (令和改訂版)

みんなで子育て



岐阜県

はじめに、「家庭教育学級」の全体像を把握しましょう！

- ・引継ぎ資料の中に、県が作成した左の冊子があると思いますので、この冊子を目と通していただくと、リーダーとしての役割や心構え等を確認することができます。

※ 冊子が見当たらない場合は、上記の二次元コードにアクセスし、「家庭教育学級」⇒「家庭教育学級運営マニュアル」に順にクリックしてください。

各市町担当課主催で説明会が行われたり、要項等が配布されたりしますので、配付された資料を確認しましょう！

市町からは、年間計画と予算案等の作成と提出が求められます。提出期限を確認しましょう。

- ・前年度の自校・自園の活動内容を確認しましょう！
- ・前年度の「応援通信」を見て、他校・他園が行った活動内容を知り、参考にしましょう。
- ・HPに掲載してある他地区の実践事例等も参考にしてみてください。

※ 「家庭教育学級」⇒「●年度」に順にクリックしてください。
※ 年間の「テーマ」を決め、計画するとよいかもしれません。
※ 保護者の希望を把握するために、希望アンケートをとるのも1つの手段です。
他の役員と話し合っ、活動を決めるのもよいでしょう。

どのような活動を行うか仮決定します。

※ 学校行事等の日程を確認しながら、実施候補日を決めます。

活動内容が決定したら講師を探します。学びたい内容等を伝えながら、実施日を決め、仮予約します。

※ 内容、日時、場所等を園・学校担当者と確認し、依頼文を作成し、講師に送付します。

案内を作成、配信（配付）し、保護者に周知します。

当日までに、取組カードやアンケートを作成、必要な物品などを準備します。

当日は、司会進行などを行います。

※ 活動の様子がわかる写真を撮影し、記録として残しておくといでしょう。

協力のお礼や活動報告書を作成し、保護者へ配信（配付）して、成果や様子を伝えます。

※ 講師にも御礼とアンケート等をまとめたものをを送りましょう。

小学校の保護者向け開校案内内：A版

ママ・ママのための子育て講座のお知らせ

興味を引くようなタイトルにする

フォントやデザインを工夫してある

子どものサインを見逃さないための5ヶ年

お子さんのこんな姿、心当たりはありませんか？

- * 最近ぼんやりしている
- * 忘れ物が増えた
- * 何となくそばを離れてくる（逆に寄り付かないことも）
- * 友達の話がなくなった

わが子よりよく育ってほしい！思いは誰にもありません。でも親だってあれこれすべきことがいっぱい！私がもう一人いたらいいのに…

さあ、ここでも一歩、子育てのコツを伝授してもらって一緒に子育てを見直してみませんか？

保護者の気持ちに寄り添った一言を入れてある

講師：〇〇先生

〇月〇日（〇） 14:00～

〇〇小学校 1F図書室

講師：〇〇先生

（長年、小中学校に勤務され、現在は子育て支援センター相談員として活躍中。）

*筆記用具などお持ちください

参加確認書

◇出席します ◇欠席します

保護者 お名前 _____

お子さん 年 組 氏名 _____

〇月〇日までに、担任の先生へ提出してください。

イラストを用いている

ひまわり

夏休みには、『話そう！遊ぼう！わが家の約束（家庭一週間）』に取り組んでいたとき、ありがとうございました。多くの家庭で取り組んでいた「ふれあいカード」のまとめができましたので、お知らせします。

本年度の実践内容

ポイント1 活動内容の集計結果を知らせる

食育 朝食作り、夕食作り、野菜で食育

ボランティア・手伝い

ご飯の準備・片付け、掃除、洗濯

生活習慣・健康

ラジオ体操、早寝早起き、運動、部屋の片づけ、テレビを消して食事

体験・ふれあい・読書

一緒に食事、読らん

読みがき

親子で読みがき

絵・描画

だれにでも読書

ほのめ

動物の世話

ポイント2 参加者の感想を伝える

3年 女子

【生活習慣・健康】

【取り組み内容】

【実践内容】

【子どもの感想】

【保護者の感想】

ポイント3 今後の取組や心構えを提案する

☆役員から一言

どの家庭でも充実した夏休みを過ごすことができました。また、今回の取組も親子が向き合う絶好の機会となり家族の絆を一層深めたことも分りました。今後もこれらの実践を参考にしながら、家庭での親子のふれあいを促め、より良い実践をお聞かせいただきたいと思います。ご協力ありがとうございました。

がんばり過ぎているようなところはありませんか？

4月は、生活環境が変化し、子どもだけでなくだれもが少し緊張した状態で生活するため、普段以上にストレスが溜まります。その反動として、ゴールデンウィークで緊張感が緩むと心身に不調が現れることがあります。通称「五月病」と名ばれるものです。病院を受診すると「軽度のうつ」「適応障がい」などという診断名がつくそうです。

主な要因は、ストレスであるため、ストレスを上手く解消できるように気をつけてあげる必要があります。

近年「五月病」の前に「四月病」になる人も増えているのだそうです。生活環境が変わることで、期待感が高まり軽い躁（そう）状態になり、「今年度はがんばるぞ！」「がんばれそうだ！」と張り切り過ぎてしまうことが原因です。しかし、本人にとってキャパシティオーバーである場合は、やがてストレスとなり、心身への負担が大きくなって、「五月病」へ移行してしまいます。

四月病は大学生によく見られるようですが、**進学・進級を機に心機一転がんばる児童・生徒もたくさんいます。**保護者の目から見て、「わが子はがんばり過ぎていないかな？」と見守り、いつもと異なる点があれば、声をかけて、確認してあげてください！

春は、大陸から移動性高気圧が頻繁に日本にやってくるようになり、気圧の変動が大きくなる季節です。日々の寒暖差も大きく、これらに対応するため、自律神経の1つである交感神経が優位にはたらき、エネルギー消費が増え、疲れやだるさを感じやすくなる時期でもあります。

生活環境の変化によるストレスと相まって、心身に大きな負荷がかかり自律神経が乱れると、頭痛やめまい、不眠などの症状も現れることがあるようです。十分にご注意ください。

「五月病対策として

保護者が気をつけたいこと」

- ・子どもの話をじっくり聞き、肯定的な言葉をかける。
- ・適度にからだを動かす（軽い運動をする）機会を設ける。
- ・栄養バランスのとれた食事を摂らせる。
- ・十分な睡眠を確保する。
- ・ゆったりとした生活に努める。
（子どものペースを尊重する）
- ・積極的にスキンシップをとる。
（一緒に遊ぶ、活動することを含む）
- ・家族みんなで楽しめることを行う。
- ・生活のリズムを整える。

書き上げてみると、どれも普段から大切にしたいことばかりです。基本が大切ですね！

「春の全国交通安全運動2025」 4月6日（日）～15日（火）

- ・こどもを始めとする歩行者が、安全に通行できる道路交通環境の確保と正しい横断方法の実践
- ・歩行者優先意識の徹底と、ながら運転等の根絶やシートベルト・チャイルドシートの適切な使用の促進
- ・自転車・特定小型原動機付自転車利用時のヘルメット着用と交通ルールの遵守の徹底



自転車の運転中にスマートフォンなどを使う「ながら運転」による死亡・重傷事故が昨年全国で28件発生し、統計を取り始めてから最多となりました。このうち25件が「画面の注視と操作」、3件が「通話」でした。片手運転と周囲の情報把握の欠如が原因と考えられます。2つのことを同時に行うことをマルチタスクと言いますが、マルチタスクと呼ばれる人は、全体の1～2%しかおらず、ほとんどの人には無理だそうです。同時に行っているように見えても、実は短時間で上手に切り替えを行っているだけなのです。スマートフォンの画面操作に集中すれば、身に迫ってくる危険をキャッチすることは困難になります。ながら運転の他に、**自転車乗用中の死亡・重傷事故件数のうち、約3/4は自転車側にも、一時不停止や信号無視等の法令違反があり、事故につながっています。**自転車の乗り方について、家族で話し合う時間を設けてみてください。